



株式会社 渡会電気土木

株式会社渡会電気土木は、SDGs（持続可能な開発目標）の国内での推進を図るため内閣府が設置した「地方創生SDGs官民連携プラットフォーム」に参画いたしました。

地方創生SDGs 官民連携 プラットフォーム



私たちは持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

[「地方創生SDGs官民連携プラットフォーム」>](#)

SDGs（持続可能な開発目標）とは？

2015年9月の国連サミットで加盟193か国の全会一致で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標で、17のゴール・169のターゲットから構成された、持続可能な開発目標（SDGs：Sustainable Development Goals）です。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標

<p>1 貧困をなくそう</p>	<p>2 飢餓をゼロに</p>	<p>3 すべての人に健康と福祉を</p>	<p>4 質の高い教育をみんなに</p>	<p>5 ジェンダー平等を実現しよう</p>	<p>6 安全な水とトイレを世界中に</p>
<p>7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに</p>	<p>8 働きがいも経済成長も</p>	<p>9 産業と技術革新の基盤をつくろう</p>	<p>10 人や国の不平等をなくそう</p>	<p>11 住み続けられるまちづくりを</p>	<p>12 つくる責任 つかう責任</p>
<p>13 気候変動に具体的な対策を</p>	<p>14 海の豊かさを守ろう</p>	<p>15 陸の豊かさを守ろう</p>	<p>16 平和と公正をすべての人に</p>	<p>17 パートナースHIPで目標を達成しよう</p>	<p>SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS</p> <p>2030年に向けて世界が合意した「持続可能な開発目標」です</p>

渡会電気土木が取り組むSDGs

情熱あふれる行動力で地域社会の未来を切り拓く

私たち株式会社渡会電気土木は、物質的な豊かさが飽和しつつある今、ひとびとは「感動」するシーンをあらゆる対象に期待し、かつ求めるようになりました。感動する心こそが、これからの豊かな生活環境の創出に欠くことのできない重要なファクターであり、そこにわたしたちの果たすべき役割があると考えます。



山形県庄内空港整備事業 進入灯設置工事

創業 50 周年を迎えた株式会社渡会電気土木は地域社会への貢献及び創造、安心して暮らせる環境を作るため豊富な経験、時代を先取りする鋭い感性、従来の発想パターンを超えた創造的思考力、情熱あふれる行動力で地域社会の未来を切り拓くため、SDGsに取り組んでまいります。

★ 教育



業務上必要な知識、技術の取得において、社内教育（OJT）は勿論、外部での資格習得をサポートし、仕事に関係する技術や能力をそなえた従業員を増やす。

★ 男女共同参画



男女問わない、技術者を目指す人材の育成と資格取得の支援を進める。
希望する資格や、講習会などへの参加をサポートすることで、個人の技術向上を促す。

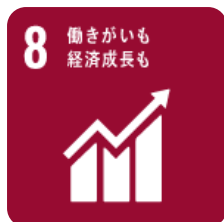
★ 環境対策への取り組み



被害木や間伐材などの木質バイオマスを活用した再生可能エネルギー（木質ペレット・チップ）の製造・利用推進でCO₂の削減を目指す。

[当社の関連ホームページ >](#)

★ 地域活性化を目的とした雇用維持・創出



働き甲斐のある、魅力あふれた企業を目指し、企業イメージアップを図り、若者の雇用定着による地域活性化に繋げる。

★ 情報化への対応



ICT（情報通信技術）などの採用による、業務の効率化、従業員のモチベーション向上を図る。

★ 災害対策・防災・減災への対応



災害時のインフラ早期復旧のための準備・対応（BCPへの取組みなど）を進める。地域との連携による災害時の“いっとき避難所”を提供する。

[関連記事：庄内日報社記事 >](#)

★ 陸の豊かさを守りながら、資源を大切に使う



あらゆる種類の森林の、持続可能な形の管理をすすめ、衰えてしまった森林を回復するために、関連組織とのマッチングをはかり植林などに取り組む。